

人気漫画家と恩師との出会いと別れの9年間

かくかくしかじか



描くことでしか、言えなかった。

永野芽郁

見上愛 畑芽育 鈴木仁 神尾楓珠

森愁斗 青柳翔 長井短 津田健次郎 斉藤由貴(特別出演)

有田哲平 MEGUMI / 大森南朋

大泉洋

原作：東村アキコ「かくかくしかじか」(集英社刊)

監督：関和亮 脚本：東村アキコ 伊達さん 音楽：宗形勇輝

主題歌：MISAMO「Message」(ワーナーミュージック・ジャパン)

製作：矢野隆生 山田邦男 細野真司 東村アキコ 製作総括：白井裕河 プロデューサー：加藤達也 櫻井雄一
アソシエイトプロデューサー：岸根明 監修監督：矢野弘幸 監修：多田一樹 録音：関口浩平 美術：橋本陽次 美術プロデューサー：栗田慎一郎
アートコーディネーター：渡部哲也 スタylist：李福華 衣装：牧野慎良子ヘアメイク：藤本友紀 スタントコーディネーター：濱田悠
編集：渡辺真樹 カラリスト：河本隆 EBD：堀尾寿樹 制作デスク：伊藤あずさ 音楽プロデューサー：谷口広規 音楽編集：牧野祥子 スクリプト：白田敦博 スタジオ：スタジオ・ワタナベ
制作：フジテレビジョン ワーナー・ブラザーズ映画 S・D・P 東村プロダクション 制作：フタバタシロ・リノケット 配給：ワーナー・ブラザーズ映画 WARNER BROS.
©東村アキコ・集英社 ©2025映画「かくかくしかじか」製作委員会

#映画かくしかじか 5.16 日
kakushika-movie.jp



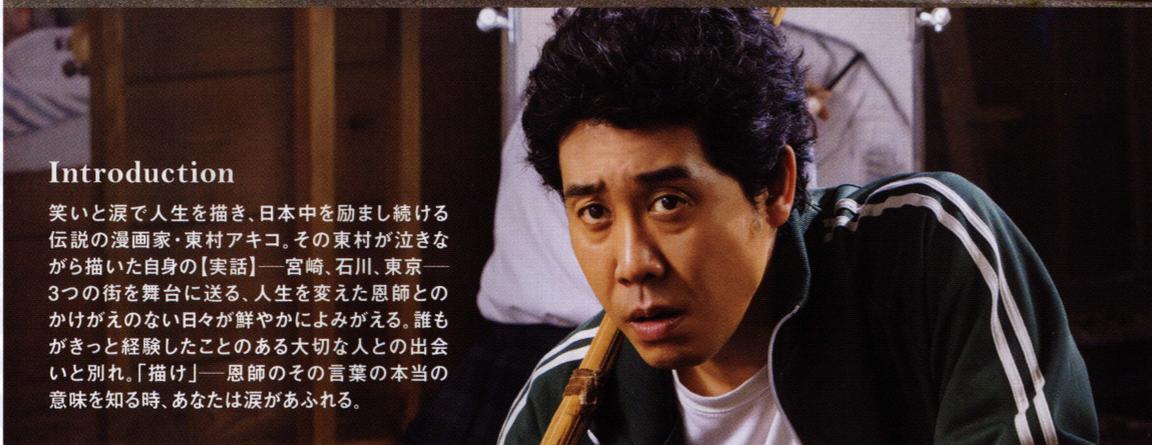
主演 永野芽郁 × 大泉洋



「東京タラレバ娘」「美食探偵 明智五郎」
『マンガ大賞』2015 受賞 東村アキコの不朽の傑作漫画、映画化!



先生、聞こえてる?
ねえ、先生。私の先生



Introduction

笑いと涙で人生を描き、日本中を励まし続ける伝説の漫画家・東村アキコ。その東村が泣きながら描いた自身の【実話】—宮崎、石川、東京—3つの街を舞台に送る、人生を変えた恩師とのかけがえのない日々が鮮やかによみがえる。誰もがきっと経験したことのある大切な人との出会いと別れ。「描け」—恩師のその言葉の本当の意味を知る時、あなたは涙があふれる。

主題歌 MISAMO × 原作 東村アキコ



【主題歌】

MISAMO「Message」(ワーナーミュージック・ジャパン)

“TWICE”の日本人メンバー3人によるユニット。

【原作】

「かくかくしかじか」(全5巻) 集英社

人気漫画家・東村アキコが、初めて自身の半生を描いた自伝漫画。



人気漫画家と人生を変えた恩師との

出会いと別れの9年間

伝えられなかった想いと切ない後悔の感動の実話



先生が注いでくれたビールは一口も飲めなかった。
今だったらもう、一気飲みだよ……先生

私になりたいのは、
画家じゃなくて少女漫画家。
でもそれを先生には言えませんでした

先生。私は最低の教え子です

私の幼稚な嘘を、最後まで信じて…
とんでもないお人好しだよ……先生

怖くて、私は漫画の作業に
逃げたんです

先生の言葉はいつも、
私の想像以上に直球で、
そこにはひとつの嘘もありませんでした

描くしかない。
それを教えてくれたのは先生でした

Story
漫画家になるという夢を持つ、ぐうたら高校生・明子。人気漫画家を目指していく彼女にはスパルタ絵画教師・日高先生との戦いと青春の記録があった。先生が望んだ二人の未来、明子がついた許されない嘘。ずっと描くことができなかった9年間の日々が明される――。



全国の映画館スタッフ、今年イチオシの切ない実話

上映中も泣き、帰りの電車でも泣きました…。夢を追いかける勇気をもたらえた。
— M.M 興行会社営業企画部

真っ直ぐな人の近くにいるしんどさにもちょっと覚えはあってその時感じたしんどさの先にあるものがなんだったのかを教えてくれる作品でした。
— K.M 劇場支配人

自分の好きにもっと夢中になろう。後悔の無いようにやりたいことをしようと前向きな気持ちになりました。
— S.T 興行会社マーケティング

笑えて、泣けて、優しく背中を押してくれる素敵な作品がっつり泣かせて頂きました！
— N.F 劇場支配人

誰よりも素直に、正直に、真っ直ぐに思いを伝えてくれる人はいますか？それは最も大切にすべき人なのかもしれません。心に染みわたる素晴らしい作品です。
— K.T 劇場支配人

原作漫画が好きすぎて観るのが怖かったのですが、映画でも大号泣。アキコや日高先生はもちろん、父・健一もちゃんと健一でした。
— S.K 興行会社番組編成・シアターマーケティング

「自分も誰かの“先生”になりたい！」と思いながら観ていました。全力で生きて、全力で人と向き合う日高先生は最高でした！
— S.H 劇場支配人

最初とはとてももうさく感じた日高先生の「描け、とにかく描け一ツ!!」が、愛情に溢れたエールだったことに気付いたとき、もっともっと聞きたくなくて涙しました。
— S.T 興行会社番組編成

沢山の出会いが私の人生に色々なキッカケを与えてくれたことを、スクリーンにうつる日高先生と林のやり取りから思い出し、あたたかくも切ない気持ちになりました。
— A.S 興行会社マーケティング

夢を追う明子とまっすぐな日高先生に、出会いと時間の尊さを教わりました。思い出せば、今もきっと特別な時間。今をもっと大切にしたいと思える作品です。
— M.Y 興行会社シアターマーケティング

大切な人からの愛情に素直に応えられない葛藤、若さ故？誘惑に負けること私にもあったなあ…と共感。後悔する前に「観ろ、観ろ、観ろー」タイムマシンであの日に戻ることはできないのだから…
— T.Y 劇場支配人

目まぐるしい日々の中で、大切にしたいことを蔑ろにしてしまう、それを仕方ないと受け流してしまうことがあるけれど、観た後は自分の軸がふっと戻るような、優しく背中を押してくれる温かい作品でした。
— S.T 興行会社番組編成

与える人と受け継ぐ人の思いのキャッチボールをスクリーンで感じました。誘惑が多い青春を経て、限られた時間の中でひたむきに努力する人はかっこいいと改めて思います。
— R.A 興行会社イベント担当



(順不同)